

主な内容	
一般質問議員と質問項目	1
一般質問から	2・3
議会改革調査特別委員会 活動報告・議会報告会	3
平成29年度予算審査	4・5
主な質疑	5
3月定例会 議案等審議結果一覧	6
委員会報告	6



那須烏山市 Nasukarasuyama City

議会だより

発行
那須烏山市議会
編集
議会広報委員会
事務局
☎0287-88-7114



保護者や先輩に見守られて 烏山中学校入学式(平成29年4月11日)

**3月定例会が2月28日(火)に
招集され、3月16日(木)までの
17日間の会期で行われました。
提出された議案等の審議の結果は
6ページに掲載しています。**

なお、議決された議案の内容など、詳しくは「広報なすからすやま第139号」をご覧ください。

一般質問議員と質問項目(質問順)

※赤太字になっている項目は、本誌2〜3ページに質問と答弁の内容を記載していますのでご覧ください。

滝口 貴史 議員

- 1 地元企業の育成に向けた優先調達について
- 2 庁舎等耐震化計画の策定について
- 3 本庁舎の整備について
- 4 まちづくりプラン11プラス2の今後の対応について
- 5 河川の土砂堆積について

矢板 清枝 議員

- 1 子育て支援について
- 2 病児保育について
- 3 子どものインフルエンザ予防接種への助成について
- 4 プレミアム商品券について
- 5 確定申告受付時のサービスについて

望月 千登勢 議員

- 1 地域おこし協力隊について
- 2 まちづくりチャレンジプロジェクト
- 3 ジェクト採択事業について
- 4 まちづくりにおける住民参画の現状について
- 5 地域力向上について

中山 五男 議員

- 1 高根沢町との連携策について
- 2 小中学生の学力向上の成果と今後の課題について
- 3 文武両道教育の成果について
- 4 本市伝統行事の伝承等について

小堀 道和 議員

- 1 農業の受け手の育成について
- 2 ジオパーク認定取得の活動について

樋山 隆四郎 議員

- 1 那須烏山市公共施設総合管理計画と財政について

平塚 英教 議員

- 1 本市の財政運営と公共施設等総合管理計画について
- 2 広域行政一般廃棄物処理施設の改修について
- 3 図書館行政について
- 4 県が新設導入する制度と本市の受け入れ対策について
- 5 創業支援事業計画について
- 6 森林資源の有効活用について

渋井 由放 議員

- 1 車両のリースについて
- 2 LEDのリースについて
- 3 道の駅について
- 4 解体工事について
- 5 通学路の安全確保について
- 6 とちぎの元気な森づくり県民税について

- 1 本市の財政運営と公共施設等総合管理計画について
- 2 広域行政一般廃棄物処理施設の改修について
- 3 図書館行政について
- 4 県が新設導入する制度と本市の受け入れ対策について
- 5 創業支援事業計画について
- 6 森林資源の有効活用について

- 1 車両のリースについて
- 2 LEDのリースについて
- 3 道の駅について
- 4 解体工事について
- 5 通学路の安全確保について
- 6 とちぎの元気な森づくり県民税について



議会の動き

- 平成29年1月**
28日○議会だより第43号発行
- 2月**
1日○総務企画常任委員会視察研修(那珂川町・茂木町)
- 3月**
2日○JR烏山線利用促進対策特別委員会とまちづくり課の懇談会
3日○烏山線気動車「キハ40形」引退イベント
6日○議員全員協議会
○議会広報委員会
○行財政改革調査特別委員会
- 4月**
8日・10日
○各常任委員会
16日○議会運営委員会
○議員全員協議会
○議会改革調査特別委員会
25日○議会報告会
- 4月**
13日○議会改革調査特別委員会
○行財政改革調査特別委員会
14日○議会広報委員会
19日○議会広報委員会

平成29年3月定例会 一般質問から

※質問・答弁の内容は要約してあります。
会議録は市立図書館及び市ホームページで
閲覧できます。

滝口貴史議員

本庁舎の整備他について

(問) 危機的な財政状況下における庁舎整備の方向性について市長の考えを伺う。
(答) 今年度実施の庁舎整備計画策定支援業務を踏まえ検証を行った結果、烏山・南那須両庁舎の耐震補強等は困難との結論に達し断念する。合併20周年となる平成37年度の整備目標を更に前倒しし、本庁舎の整備を進めていきたい。
(問) 県南那須庁舎の活用に関する市長の考えを伺う。
(答) 選択肢の1つとして引き続き検討したい。
(問) 本庁舎の整備場所について改めて確認したい。
(答) 合併時に建設計画の中で明言したとおり烏山市街地での整備を検討している。

まちづくりプラン11プラス2の今後の対応について

(問) 市長の政策であるまちづくりプラン11プラス2は見直しを求める声も多い。今後の対応方針について伺う。
(答) まちづくりプラン11プラス2は市長3期目の政策マニフェストであり、総合計画後期基本計画に位置付けられる重点プロジェクトである。現在建設中の武道館を除き、道の駅、庁舎、烏山中央公園の整備など、大型事業の多くが事業着手に見通しがついていない状況だが、全面的に見直す考えはない。引き続き前向きに検討したい。

中山五男議員

小中学生の学力向上の成果と今後の課題について

(問) 市長は就任以来教育のまち構想を掲げていることから、学校教育費に関しては他市町に先駆け、さまざまな施策を講じてきた。しかしながら、費用を投入しただけの効果が学校成績に結びついていない。今後の対策も含め伺いたい。
(答) これまでに小中学校の改築、空調設備や電子黒板の導入などを行い、英語教育にも力を入れてきた。先生方にさらなる授業力の向上を図ってもらうための、学習力上位の地域への視察研修を実施し、効果が上がりつつある。研修は今後も続けたい。
(問) 烏山の山あげ行事がユネスコ無形文化遺産登録された喜びに、いまだ余韻の残るところである。教育長は「郷土愛を重視した教育環境を整えたい」と申さ



総合的な学習の時間で行われる郷土伝統芸能に関する学習(境小学校)

平塚英教議員

本市の財政運営と公共施設等総合管理計画について

(問) 市内には先祖から引き継がれた貴重な慣習や伝統行事が残されている。しかしながら、少子高齢化の進行により後継者の育成や資金不足等の対策が必要である。市では補助金による支援や、伝統芸能等を伝える授業などを行っている。
(答) 市内には先祖から引き継がれた貴重な慣習や伝統行事が残されている。しかしながら、少子高齢化の進行により後継者の育成や資金不足等の対策が必要である。市では補助金による支援や、伝統芸能等を伝える授業などを行っている。

矢板清枝議員

子育て支援について

(問) 妊娠前から子育て期の親が安心して相談し、支援を受けられる子育て包括支援センターの設置に向けて、市の考えを伺う。
(答) こども課では、ワンストップ窓口として、育児、保育関係等各種の相談支援を行っている。今後は、子育て世代包括支援センターの中核となる利用者支援事業を導入し、助産師等による専門性を強化した相談支援を行うべく検討している。
(問) 確定申告の受付を烏山庁舎で行ったが、受付でのトラブル等の発生状況や、来年度からの取り組みについて伺う。
(答) 2月16日から開始した南那須地区の割り当てが終了した。現在、烏山地区を行っている。申告受付時間の延長による混雑等の緩和と、交通弱者の方に対して庁舎間の無料送迎車を運行したり、駐車場・会場内の案内に各2名を配置したりするなどの対応をしている。今までのところトラブル等もなく、順調に進んでいる。



子育て支援センターきらきら利用の様子

小堀道和議員

農業の受け手育成について

(問) 農業後継者問題が深刻化しており、今のままでは広大な耕作放棄地になってしまう。個人経営も含む農業公社等受け手側の将来を見据えた取り組みを紹介し農業継続可能なまちであること公表し、子供世代に安心して相続できるようにすべきと考えるが見解を伺う。
(答) 平成30年から農業の大転換期を迎える。新たな農業の仕組みづくりについて農業公社を中心に具体的検討を進める。この中で農業の取り組み情報を早急に公表できるように進めていく。
(問) 平成26年3月に策定した第1次那須烏山市環境基本計画において、省資源型の照明や事務機器の積極的な導入を検討するとしていたが一部の施設への設置に留まっている。
(答) これは、LED設置にかかるLEDコストが高額であったことが理由である。



那須烏山ジオパーク構想のロゴマーク

ジオパーク認定取得活動

(問) 平成29年度にジオパーク認定取得申請予定とのことだが最近の審査では他のジオパークをしのぐ活動が求められている。また、地域住民と協働で推進するまちおこしの活動になっているかが最も重要と聞いている。取得目的と取り組み状況を伺う。
(答) 取得目的は地域が遺産を保護するとともに、郷土愛を醸成し、地域活性化を図る地域おこしに貢献すること等である。
(問) 本活動の主体は地域住民にあり市民が主体的に動く地域おこしのツールとして活用する。認定取得は通過点であり、継続的取り組みで生き生きと楽しく活動したい。
(答) 取得目的は地域が遺産を保護するとともに、郷土愛を醸成し、地域活性化を図る地域おこしに貢献すること等である。本活動の主体は地域住民にあり市民が主体的に動く地域おこしのツールとして活用する。認定取得は通過点であり、継続的取り組みで生き生きと楽しく活動したい。

渋井由放議員

LEDのリースについて

(問) 市は予算の平準化、地球温暖化防止対策等の見地から公用車をリースしている。LEDの譲渡権つきリース事業を導入する考えがあるか伺う。
(答) 平成26年3月に策定した第1次那須烏山市環境基本計画において、省資源型の照明や事務機器の積極的な導入を検討するとしていたが一部の施設への設置に留まっている。これは、LED設置にかかるLEDコストが高額であったことが理由である。しかし、LED譲渡権付きリース事業が、さまざまな企業により実施されている。事業概要は、これまでの蛍光灯の使用電気料金からリース期間中におけるLEDにより軽減された電気料金で設置にかかる全ての費用を賄うことから、インシヤルコストが不要で、さらにリース期間終了後LEDが譲渡されるといいうものである。従来の光熱水費支出以上の経費負担が発生することなく、省エネルギーの推進、温室効果ガス排出削減が期待できる。今後は、LED譲渡権付きリース事業の導入に向けた調査研究を進めていきたい。

望月千登勢議員

まちづくりにおける住民参画の現状について

(問) JR烏山線沿線まちづくり推進事業「七福神プロジェクト」における住民参画のプロセスを伺う。

(答) 高根沢町との広域連携による「高校生のアイデアによる地域資源創出」や、「烏山駅と宝積寺駅前の連携イベント」などを計画している。



七福神プロジェクトのワークショップ

(問) 烏山学(烏山高等学校)で始まる那須烏山市を考える地域学習)が事業に含まれるが、市民との関わりはどのように作られるのか。

(答) 14のテーマにおいて、地域の人材や大学の専門家が講師となる。高校1・2年生が地域に出てフィールドワークを行うこともある。

(問) 地域を学ぶ効果について、行政・学校それぞれにねらいを問う。

(答) 学校においては特徴ある高校作りを目指し、問題解決能力を養うことで、将来に向けた進路意識を高めることをねらいとしている。行政としては、小中高

における幅広い生涯学習プログラムとすることで、地域の活性化につながるものと期待している。

(問) わが市における小高一貫生涯学習の実施は可能か。

(答) 可能であり、推進すべきと思っている。烏山学については、幼保を含めて高校までの一貫した連携ができるようバックアップしたい。

樋山隆四郎議員

那須烏山市公共施設総合管理計画と財政について

(問) 計画によると、仮に市の所有する建築物系公共施設(庁舎・学校・文化施設等)、インフラ系公共施設(道路・橋梁・上下水道等)を平成29年度から68年度までの40年間現状のまま維持しようとする、建築物系は355億円、インフラ系は784億円で合計1139億円かかる見込みとのことである。今後の市の財源と公共施設の在り方について伺う。

(答) 維持管理、更新費用の増大による財源不足が懸念されており、現有する公共施設をそのまま保有することはきわめて困難な状況である。危険性が認められた施設、利用状況が少ない施設、類似する施設を中心に統廃合も視野に入れた再編整備について検討を進めることとしている。

一方、公共施設等は地域に密着したコミュニティの

拠点としての役割も果たしている。公共施設の統廃合等に際しては、地域住民のニーズを十分に踏まえるとともに、複合化、多機能化による代替機能の設置を検討するなど、住民サービスの低下に配慮した対応を図りたい。

3月定例会の本会議日程と傍聴者数

月日	内容	傍聴者数
2月28日(火)	開会・上程・採決・付託	12人
3月2日(木)	一般質問	13人
3月3日(金)	一般質問	11人
3月6日(月)	一般質問	13人
3月7日(火)	予算総括質疑	2人
3月16日(火)	上程・報告・採決・閉会	1人
	計	52人

完成した武道館を見学

3月16日、南那須庁舎南側に建設された那須烏山市武道館を見学しました。6月1日から一般利用が開始される予定です。



完成した武道館を見学する議員

議会改革調査特別委員会活動報告

議会報告会

開催日時

平成29年3月25日(土) 午後7時~8時40分

開催場所

那須烏山消防署 (神長地内)

参加人数 41名

内容

当委員会は昨年6月設置以来、3月までに会議を10回開催しました。その中で決定した事項は次の3点です。

①議員定数18名を1名削減し次の選挙から17名になります。

合併当時、両町合わせた議員定数は36名でしたが、合併後初の選挙では20名、次の選挙で18名に削減した経緯もあり、今回、全議員の意見をまとめた結果1名減の17名としたものです。どうぞご理解ください。



予算の説明をする渡辺議長

②開かれた議会を目指し、議会基本条例の制定も視野に審議を続けています。一般的には基本条例で義務付けられる議会報告会を試行的に実施することになりました。議会報告会の内容の詳細については下記に記載のとおりです。ご多用の折ご参加いただいた市民のみなさまに厚く御礼申し上げます。

③議案書の作成等の議会に係る事務の効率化、議員活動の活性化などを目的に議場でのタブレット端末の活用について議論してきましたが、本格導入は次回議員改選後に改めて検討することとなりました。



議会報告会の様子

中山 五男 委員長



参加した市民や議員

次に各常任委員会委員長が、所管する課局に係る平成29年度予算の特徴について説明した後、予算審査に際し付された要望、意見について報告しました。

最後に意見交換の時間を設け、当日の内容に限らず広く意見を募ったところ、多くの方から有意義なご意見、ご提言をいただきました。なお、そのうち執行権に係る内容については、ご意見として市執行部に報告



意見を述べる参加者

また、今後の議会改革の参考とするため、アンケートを取ったところ、ほとんどの参加者の方より回答をいただくことができました。ご協力ありがとうございました。

意見交換の場において、後日回答するとした次のご質問については、市執行部から回答を得ましたのでその内容を報告します。

質問 どのように市役所の若手職員を育成しているのか。

市執行部 他市町と連携して実施している階層別研修や市独自のセルフケア研修等を受講させている。また、平時の職場においてOJT(職場内訓練)を意識した指導、教育を実施するとともに、人事評価制度などを活用し、若手職員の資質の向上を図っている。

平成29年度 予算審査

平成29年度一般会計、7特別会計、水道事業会計の予算については、所管の常任委員会に付託され、それぞれの常任委員会で慎重な審査が行われました。

ここでは、各常任委員会の審査の中で出された意見等で本会議において報告された内容を掲載します。

総務企画常任委員会

◎所管する課等
 総合政策課、まちづくり課、総務課、税務課、会計課、議事事務局、監査委員、選挙管理委員会及び固定資産評価審査委員会

総合政策課

◎当市は他自治体、大学、金融機関やその他の民間企業などと数多くの協定を結んでいるが、協定は結ぶことが目的ではない。継続的に有効に機能するように、しっかりと内容を検証されたい。



ふるさと応援寄附金記念品のひとつ
 那珂川カヌーツーリング体験チケット

◎各分野での市民の活躍の様子など明るい話題をさらに積極的に広報紙に掲載し、市民意識の高揚、一体感の醸成に寄与されたい。

面的で広範囲にわたっていることもあり、まだまだその本領が発揮されていないように見受けられる。新年度においては、関係各課と十分に調整し、さらに地方創生を力強く進められることを期待する。

◎新年度から実施されるデマンド交通土曜運行実証実験は、あくまで試験的な取り組みのことである。実施に際しては、利用者へのことを十分に周知し、混乱が生じることがないように努められたい。

◎まちづくり団体関係の補助金の交付に際しては、当初掲げた計画どおり事業が展開されているか、見込んだ成果が生み出されているか、十分に審査、検証を行い、安易に継続と判断することのないよう心されたい。

◎地域おこし協力隊には大いに期待を寄せている。隊員が任期満了時に確実に定住・定着し、当市の地域活性化の一翼を担う存在に成長するように指導・支援を施されたい。

総務課

◎電子入札制度について、年間300万円を超える維持管理経費は決して安いものではない。有効活用できるよう工夫して運用されたい。また、導入の結果を十分に検証し、もし想定する効果が得られないようであれば、制度の見直しも検討されたい。

◎ここ数年、退職者が多く、市職員の若返りが急激に進んでいる。若く意欲のある職員を上手に活かし、育て、市役所全体で明るく活気ある職場となるよう努力されたい。

税務課

◎平成28年度から確定申告受付を1会場で実施することとなった。当初は、相当の混乱が心配されていたが、大きなトラブルもなく、結果的に経費削減や事務の効率化に繋がったことは評価に値する。今回の取り組みで生じた課題や問題点をよく精査し、これを次年度以降に反映させ、さらにスムーズで効率的に申告受付が実施できるよう努められたい。

文教福祉常任委員会

◎所管する課
 市民課、健康福祉課、子ども課、学校教育課、生涯学習課、文化振興課

市民課

◎マイナンバーを利用した各種証明書のコンビニ交

付化など市民にとって便利なサービスを提供し、将来的な経費削減のためにも、マイナンバーカードの普及に努められたい。

◎健康福祉課や子ども課等と連携し、市民サービスの向上に努められたい。

健康福祉課

◎地域住民の支え合いで成り立つふれあいの里や、自ら疾病を予防する健康マイレージ等、市民の健康を維持するための事業のさらなる発展を期待する。



地域型保育事業所 ゆうゆうランド那須烏山園

子ども課

◎出産後も保護者が安心して子どもを預け働くことができる環境を整えるために、要望の多い2歳児までの保育を行う地域型保育事業所の増設や、公立幼稚園・保育園の認定子ども園化に向け取り組みられたい。

学校教育課

◎県立である烏山高校については、通学費の補助をするのではなく、魅力あ

る学校づくりに向け費用を抑えた支援をされたい。

◎地域に開かれた小中学校にするために、市在住の元教師や市民が理科や家庭科の授業、図書室業務に補助として入る機会を多くつくられるよう学校へ働きかけられたい。

生涯学習課

◎なすから英語塾の事業を拡大したり、国際交流協会により自由な活動展開を目的に現在市が持っている事務局を協会へ移管したりすることにより、さらなる国際化を目指されたい。国際化に向けた取り組みとして、山あげ祭時には英語塾受講生による観光案内を実施したとのことだが、市在住の外国人や市と協定を結ぶ大学に通う外国籍の学生を招待し、受講生と一緒に中高生も案内できるような方法も検討されたい。

◎市民の協力を得た図書館運営や、烏山地区の市が管理する公民館の集約化や自治会への譲渡等、市全体の公共施設の平準化

を考慮しながら経費削減につながるような方策を取られたい。

文化振興課

◎国指定の史跡を目指し、烏山城跡のさらなる調査研究を進められたい。

◎ジオパークの認定に向けた準備に尽力されたい。

また、制作が予定されるPR動画については、本市の大地の素晴らしさを市内外に広く伝えることができるよう工夫されたい。

経済建設常任委員会

◎所管する課等
 農政課、商工観光課、環境課、都市建設課、上下水道課及び農業委員会



本市のゆずで作ったゆずネードの販売

農政課

◎本市の農業振興は、地産地消の取り組みが重要な方策ではあるが、それにとどまることなく、さらに発展させるためにも6次産業化をはじめ本格的な戦略を持たなければならぬと考える。特産品



曲田横穴墓群を視察する議員

となりうる農作物、商品を作り、関係機関と連携した販売ルートを確認し、本市ブランドを都市部に販売できるような対策を検討されたい。

商工観光課

○商業振興対策事業のプレミアム商品券は、発行してから短時間で売り切れる状況にある。より市民にプラスになる方策として一世帯の限度額を定めるなど広く多くの希望者が購入できるように、また、地域商品券も含めて地元商業の振興に繋がるように検討されたい。

市役所内の事業には、本市において非常に重要な施策である観光振興、商業活性化に繋がる事業も多くあることから、その機会を逃さず、引き続き関係各課との連携を密にし、協力して本市の活性化に繋げられるよう努力されたい。

環境課

○第2次那須烏山市環境基本計画策定の作業にあたり、平成29年度に森林・水田等の動植物の準備調査を実施することだが、市内には多くの再生可能エネルギー機器設置事業が導入されていることから、その環境保全対策を十分に行い、将来に禍根を残さないよう併せて調査検討を進められたい。

都市建設課

○新規事業として取り組む立地適正化計画策定事業は、本市の市街地を活性化

化する手法としても期待されるJR烏山駅前の活性化事業を進めるにあたり、都市再生整備事業導入のために極めて有効な事業である。他自治体との競争になると思われるが、有利な補助が得られるよう積極的に取り組まれたい。

新規道路整備事業について、また、既存道路の維持管理及び橋梁の維持補修についても国、県の有利な補助事業を導入し、総力を挙げて取り組まれたい。

上下水道課

○水洗化率は農業集落排水事業及び南那須地区下水道では80%を超えているが、烏山地区公共下水道では30%台と依然として低い状況にある。新規接続を増やすために戸別訪問など地道な普及啓発を行い努力しているが、定住促進事業と連携するなど新たな対策も検討し、水洗化率が少しでも上昇するようにさらなる努力をされたい。なお、その他の地域については、合併浄化槽の推進を併せて進められたい。

南那須地区上水道の警報監視装置システムは、設置から40年以上経過しており、更新時期を迎えている。市役所の本庁方式への移行を検討する中で、旧烏山地区も併せて、今から新たな上水道の警報監視装置システムの検討を進められたい。

主な質疑

平成28年度補正予算について

3月定例会での、議員質疑の中から主なものを要約して掲載しています。
会議録は市立図書館及び市ホームページで閲覧できます。

用である。

議員 消防団活動費125万4千円の補正内容は。

答弁 消防団車両の車検費用がかさみ不足した分、及び指揮本部の対応用品の費用等である。

議員 河川総務費(急傾斜地崩壊対策事業費)777万1千円の繰越明許の理由は。

答弁 対象は烏山小から滝方面に行く右側集落11戸(神長下地区)の崩壊を事前に防ぐ県の事業。国の緊急経済対策事業として来年度予算が前倒しで措置され、現在順調に実施されている。6月30日までに完了予定である。繰越額は市負担20%分の一部である。

議員 自治会公民館施設整備費526万4千円補正の事業内容を伺いたい。

答弁 中山自治会の自治会公民館の施設改修費の3分の1補助で26万4千円及び高峰パークタウン自治会集会所施設建設予定地購入に2分の1補助で上限の500万円を補正計上した。

議員 山あげ会館について約2億円で改修している最中かと思うが、今回補正で計上した1億2223万6千円の内容を伺う。また、当初計画から何度か変更があったが、その変更点に

ついて伺う。

答弁 当初計画からは、展示物等の内容や工事内容、空調関係システム等に変更している。今回の補正は来年度に繰り越す工事費である。

また、改修は地方創生拠点整備交付金で2分の1の補助を受けて進めるもの。安全性の面からの指摘を受けたこともあり展示室は従来通り動かし、照明のLED化、空調等の改修を行う。ユネスコ無形文化遺産登録をきっかけにさらに多くの方を呼び込みたい。

議員 新食肉センター新設整備補助、出資金795万9千円の内容について伺う。

答弁 栃木県畜産公社主体で整備する。出資金は市内飼育の豚牛の頭数割によって換算され、700万円である。補助金は平成29年度95万5千円で、30年度・31年度と続き合計810万円の建設事業費補助を予定している。

議員 平成28年度は公民館に職員が常駐していなかったが、来年度はどのように改善を図る考えか。

答弁 土日も含め新たに職員配置を行い、公民館活

ついて伺う。

答弁 当初計画からは、展示物等の内容や工事内容、空調関係システム等に変更している。今回の補正は来年度に繰り越す工事費である。

また、改修は地方創生拠点整備交付金で2分の1の補助を受けて進めるもの。安全性の面からの指摘を受けたこともあり展示室は従来通り動かし、照明のLED化、空調等の改修を行う。ユネスコ無形文化遺産登録をきっかけにさらに多くの方を呼び込みたい。

議員 新食肉センター新設整備補助、出資金795万9千円の内容について伺う。

答弁 栃木県畜産公社主体で整備する。出資金は市内飼育の豚牛の頭数割によって換算され、700万円である。補助金は平成29年度95万5千円で、30年度・31年度と続き合計810万円の建設事業費補助を予定している。

議員 平成28年度は公民館に職員が常駐していなかったが、来年度はどのように改善を図る考えか。

答弁 土日も含め新たに職員配置を行い、公民館活

平成29年度当初予算に関する総括質疑

議員 武道館を武道以外に活用する考えはあるか。

答弁 ダンスや、上履き等を利用しない運動での使用、更に昼間の利用方法についても検討する。

議員 環境基本計画策定事業費194万5千円について伺う。

答弁 広域的環境に配慮した第2次環境基本計画の策定準備のための動植物調査実施委託費等である。

議員 平成30年度に国民健康保険の財政主体が県に移管されるにあたり、平成29年度の準備と段取りについて伺う。

答弁 来年度、県より移行に際しての具体的な納付金の算定方式と標準税率が示される予定。市としては市の税率が適正なものかどうかの検討が必要になる。システムの改修等は今年度ほぼ済んでいる。

議員 ふるさと応援寄附金事業費369万7千円が計上されているが、返礼品の上限は決まっているのか。

答弁 平成28年度は約2千万円に対し400万円の地元特産品の返礼をしている。上限については、寄附金額により30%から50%までの返礼品としている。

議員 中山かぼちゃブランド力向上支援事業費を本年度も100万円計上しているが、昨年度の効果について伺う。

答弁 平成27年度から31年度までの5カ年事業としてJAと連携して生産拡大とブランド化を図っている。平成28年度の出荷量は27年度を上回り、新たに栽培に取り組む者が数名出てくるなど、効果があがっている。



ふじた体験むら
ふれあい交流体験館と市民ふれあい農園管理棟



烏山公民館講座「ポーセリンアート教室」



市、JAなす南、フタバ食品株式会社が
共同で商品化した「中山かぼちゃプリン」

3月定例会 議案等審議結果一覧

(全会一致)

議案等		審議結果	議案等		審議結果
議案第36号	監査委員の選任同意について	可決	議案第35号	農業者健康増進施設設置及び管理条例の廃止について	可決
議案第37号	人権擁護委員候補者の推薦について	可決	議案第10号	平成28年度一般会計補正予算(第4号)について	可決
議案第19号	個人情報保護条例及び行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	可決	議案第11号	平成28年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について	可決
議案第20号	議会の議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について	可決	議案第12号	平成28年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	可決
議案第21号	職員の分限の方法及び効果に関する条例の一部改正について	可決	議案第13号	平成28年度介護保険特別会計補正予算(第3号)について	可決
議案第22号	職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例等の一部改正について	可決	議案第14号	平成28年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)について	可決
議案第23号	非常勤特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	可決	議案第15号	平成28年度下水道事業特別会計補正予算(第2号)について	可決
議案第24号	嘱託職員及び臨時的任用職員の任用、給与その他の勤務条件に関する条例の一部改正について	可決	議案第16号	平成28年度簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)について	可決
議案第25号	税条例等の一部改正について	可決	議案第17号	平成28年度水道事業会計補正予算(第2号)について	可決
議案第27号	指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営の基準等に関する条例の一部改正について	可決	議案第38号	南那須地区広域行政事務組合規約の変更について	可決
議案第28号	放課後児童健全育成事業実施条例の一部改正について	可決	議案第18号	中小企業振興基本条例の制定について	可決
議案第29号	放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決	議案第3号	平成29年度熊田診療所特別会計予算について	可決
議案第30号	市民ふれあい農園設置、管理及び使用料条例等の一部改正について	可決	議案第6号	平成29年度農業集落排水事業特別会計予算について	可決
議案第31号	ふれあい交流体験館設置、管理及び使用料条例の一部改正等について	可決	議案第7号	平成29年度下水道事業特別会計予算について	可決
議案第32号	工場立地法準則条例の一部改正について	可決	議案第8号	平成29年度簡易水道事業特別会計予算について	可決
議案第33号	公民館設置、管理及び使用料条例の一部改正について	可決	議案第9号	平成29年度水道事業会計予算について	可決
議案第34号	自家用有償バス事業基金設置及び管理条例の廃止について	可決	追加議案第1号	財産の処分について	可決

(起立による採決)

○…賛成 ●…反対 退…退席 欠…欠席

議案等	審議結果	議員別賛否一覧																		
		相馬	小堀	滝口	矢板	望月	田島	川俣	渋谷	久保居	渡辺	高徳	佐藤	沼田	樋山	中山	高田	小森	平塚	
議案第1号	議会議員定数条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号	議会委員会設置及び運営条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第26号	重度心身障害者医療費助成条例等の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第1号	平成29年度一般会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号	平成29年度国民健康保険特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第4号	平成29年度後期高齢者医療特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第5号	平成29年度介護保険特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※掲載は採決順で、議長(渡辺議員)は表決に加わらない。

※議案第1号～第9号、第18号は、上程・質疑の後、関連する常任委員会に付託され、最終日に採決。

議会を傍聴してみませんか 議会を傍聴することは、市政を知っていただく最も良い方法です。詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。(TEL0287-88-7114)

6月定例会は、6月6日(火)開会予定です。 ※正式な日程は5月30日に開催される議会運営委員会で決定されます。

総務企画常任委員会

研修報告

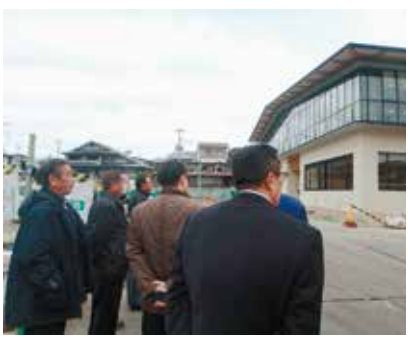
当委員会は2月1日に視察研修を行いました。

那珂川町で新庁舎整備について研修。計画段階での総事業費は約24億円(財源は基金と合併特例債で概ね半分ずつを予定)。平成23年に検討委員会を設置。2年をかけ町民との合意形成を図り、旧庁舎の耐震・新築など多様な観点と選択肢から検討を重ね答申。町有林の木材を積極的に活用し庁舎の特色づくりに活かしています。

茂木町では平成8年に栃木県第1号の「道の駅もてぎ」をオープン。地域資源を生かした6次産業化への徹底した拘りは来場者を魅了し、全国モデル道の駅への選定・ゆず塩ラーメンの道1グランプリ獲得。150万人を超える年間来場者等と驚異的な成果を上げています。地域振興と防災の拠点としたまちづくりは圧巻です。

隣接する両町の先進的取り組みから強い刺激を受け、有意義な研修となりました。

委員長 沼田 邦彦



那珂川町の新庁舎を視察する議員

JR烏山線利用促進

活動報告

3月2日に市民号について、事務局であるまちづくり課と意見交換をしました。毎年、烏山線を利用した様々なツアーが開催されており、市内外から多くの方に参加していただいています。より皆さんに満足していただき烏山線の利用向上につなげるための今後の方法について意見を出し合いました。

また3月3日は、38年間運行した烏山線気動車キハ40形引退見送りイベントに参加しました。当日は、マルシェが開催され記念弁当が販売されたり、キハ40形の写真や塗り絵が展示されたり、七福神がキハに乗車したりし、烏山駅は市民や鉄道ファンで賑わいました。今後は蓄電池駆動電車アキムに代わりますが、市民や全国から訪れる多くの方々に烏山線を利用していただけることを願っています。

委員長 高田 悦男



気動車キハ40形に乗り烏山駅に現れた七福神

あしがき

春は、寒風吹き荒れた大地に眠り、密かに耐えてきた草花が一斉に芽吹き、新緑とともに野山に花が咲き誇る季節である。国内の地方公共団体を取り巻く環境は、人口の減少・超少子高齢化の急速な進行・行政ニーズの多様化・財政の硬直化・老朽化した地域インフラの改修費の増加など、年々課題が山積しているのが現状のようだ。

合併後、今年で12年目を迎える本市も同じく、更に高率で推移する経常収支比率や自主財源比率の低さから財政の硬直化に直面しており、本市を取り巻く環境も年を追う毎に厳しくなっている。その現状を少しでも打開しようとの願いを込めて、今年も重点戦略・新規事業を盛り込んだ平成29年度の一般会計予算と特別会計予算が第1回3月定例会で可決された。

今年に限らず合併後から今日まで、国の施策に伴う補助金による事業や市の独自事業という名のもとに、多額の財源を投じ多くの種が撒かれてきた。しかし、これまでに撒かれた種から如何ほどが本市に芽吹き花が咲いているのだろうか。今後も注視したいと思う。(久保居光一郎議員)

